



いのちとくらしをまもる
防災減災

令和4年7月25日
仙台管区気象台

宮城県災害時気象資料を公表しました

～令和4年7月15日から17日にかけての大雨に関するとりまとめ～

7月15日から17日にかけて、宮城県では、前線や低気圧に向かう暖かく湿った空気が流れ込むとともに、上空に寒気が流れ込んだ影響により大気の状態が不安定となりました。このため、15日未明から16日昼頃にかけて広い範囲で雨となり、東松島市付近、松島町付近、大郷町付近で1時間に約100ミリの猛烈な雨を観測するなど、県の北部を中心に広い範囲で強い雨となりました。

16日は大崎市古川 196.5mm、栗原市築館 168.5mm と、日降水量として通年の観測史上1位を更新するなど、記録的な大雨となりました。

仙台管区気象台では、一連の気象状況等を「宮城県災害時気象資料」としてまとめました。

宮城県災害時気象資料には、気象レーダー画像や主な地点の降水量などの気象データ、気象台が発表した警報・注意報及び情報、キキクルなどを掲載しています。

宮城県災害時気象資料は仙台管区気象台ホームページに掲載していますので、以下のURL から入手にご利用ください。

仙台管区気象台ホームページ : <https://www.data.jma.go.jp/sendai/>

宮城県災害時気象資料（令和4年7月15日から17日にかけての大雨）

<https://www.data.jma.go.jp/sendai/data/saigai/siryou/20220722miyagi.pdf>

問合せ先：気象防災部 防災調査課 担当 佐々木・蒔苗
電話 022-297-8160